FRONTIER



予測できない未来を切り拓くためには、「既存の方法にとらわれず」 自ら適した方法をその都度選択して学び続けることが必要です。 ちばっ子の学びに「ICT」という新しい選択肢を増やしましょう。



授業改善の3つの視点

~中学被社会科~

実践事例のご紹介~柏市立西原中学校々

- *全校生徒523名、使用OS…Google Chrome OS
- *実践事例については、評価の3観点と授業改善の3つの視点によってタグを設定していま す。ICTを利用することが目的化することなく、児童生徒の資質・能力の向上に向けて ICTを活用するという視点で実践事例をご覧ください。 評価の3観点

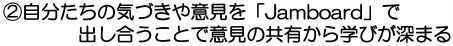
Step1

端末を活用した授業実践!

社会科の授業では、3年生が公民的分野で「現代の民主政 治」について学ぶ授業において、1人1台端末を有効に活用 していました。

本授業では、以下のような場面で活用していました。

- ①模擬投票をGoogleフォームで実施
- *模擬投票は、開票作業や集計作業の手間がかかってなかなか 実施できませんでしたが、Googleフォームを活用すること で速やかにできるようになります。
- *模擬投票にあたって、資料を読み込むなど、**投票に向けての** 取組が自分と学習内容を結び付けることにつながり、主体的 な学習へとつながっていきます。 (主体的な学び)
- *集計が瞬時に行われ、グラフ化も行ってくれるので、プロジ ェクタなどで掲示することで、興味・関心を高めることがで きます。(主体的な学び)



- *意見を共有するだけでなく、共同編集を進めていく中で、 **互いの考えを比較**していくことができます。 (対話的な学び)
- *他の人の考えや意見をよく聞いて、より良い考えや解決策な どを作り出したり発見したりすることができ、粘り強い取組 として評価することができます。 (主体的な学び) (深い学び) <主体的に学習に取り組む態度><思考・判断・表現>

動かしたりマーカーを用いてグルーピングしたり、活用方法は無限大です!深い学びの実現へいろいろな方法を試したいですね!

思考やコミュニケーションの状況などが可視化でき、残ったデータは評価に用いることができますね!

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

学習指導課 千葉県教育庁













意見の種類や発表者によって、付箋の色を 使い分けると活用方法が増えそうですね!

学習支援ソフトを有効活用 ~中学校数学科~

数学科の授業では、1年生が「反比例」について学ぶ授業において、 学習支援ソフトを有効に活用していました。

①「GRAPES-light」を用いて反比例のグラフ作成



端末をタッチしてグラフを作れる!

ひとりひとりが活動に取り組む





- *「GRAPES-light」を活用することで実際に自分がグラフを作成すると、その作業を通 して興味や関心を高めることができます。(主体的な学び)
- *本授業では、「反比例のグラフの特徴を考えようという学習課題」を設定しているため、 生徒自身がいろいろな条件を考えながらグラフをたくさん作成することで、その共通点 に気付き、知識**や技能の概念化につなげていく**ことができます。 (深い学び)
- *実際にグラフを作成することも重要ですが、このように学習支援ソフトを活用すること でグラフ作成に時間を割くのではなく、**思考を深めるために時間を使うことができる**の も、 | C T 活用のメリットです。 <思考・判断・表現>

Step3

登校できない生徒のために・・・

カメラとマイクを設置してオンラインで授業を配信中!

様々な事情で登校できない生徒のために 授業のオンライン配信をほとんどの授業で 行っています。

登校することができなくても、学びを保 障することで生徒とつながろうとする取組 が学校全体で進められています。



今年度は授業でどんどん使ってみることが重要です! さまざまな活用の事例を確認しながら、取り入れられる ところからやってみましょう。

そして、来年度(令和4年度)はより学力向上のための 活用が求められていきます。積極的な1人1台端末などの ICT機器の学力向上に向けた有効な活用をお願いします。

